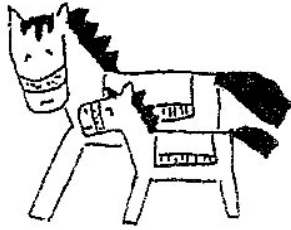


お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと



令和4年 2月 No. 327

〒760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松第二保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<https://oumanooyako.com>



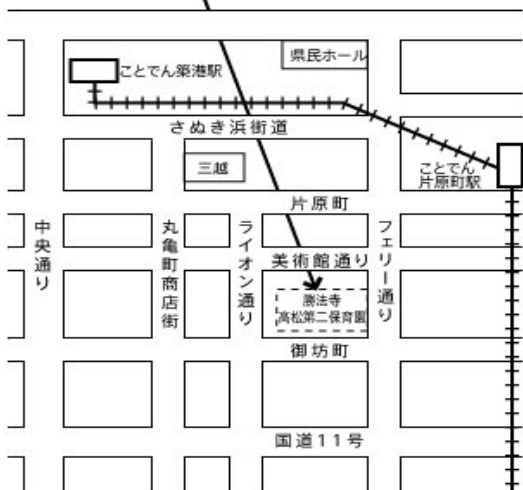
(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		2月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
2月 17日	木	こうさぎおはなし会 15:00～16:00	低年齢のお子さまにもわかりやすい内容です。
2月 18日	金	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	浮田氏に「短歌でつながる家族」についてのお話をお願いしています。
2月 18日 25日	金	うたうたい「カラヴィンカ」 19:00～20:30	シャンソン「愛の讃歌」を練習します。 唄をうたって、身も心も軽やかに！
2月 19日	土	おとなアート 14:00～16:00	生き物の形から造形美を見出し、切り取って新しい形を作ります。どなたでもどうぞ。
2月 25日	金	ヨガを楽しむ会 14:00～15:30	いつも金曜日ですが、月により回数が変更します。
2月 26日	土	体験保育 10:00～12:00	寒い日は室内でも動いて遊べます。 どうぞおいでください。

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放していますので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月～土) 9:00～18:00
しつけや子育てについての悩み、保育園生活
入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2
地域子育て支援センター



金子みすゞ「美しい町・上」より

泣きむし
「泣きむし、毛虫
つまんで捨てる。」
どっかで誰かいうような。
そっとあたりをみまわせば、
青い桜の葉のかげに、
毛虫がひとつ居たばかり。
廻旋塔(かいせんとう)のかげをさ
運動場のひろいこと。
遠い校舎のオルガンの
音もしずかにひびき出す。
いまさらうちへははいれない
さくらの葉っぱをむしっている。



☆今月の内容 — 医療的ケア児—地域の学校で受け入れる「覚悟」を一
高松市医療的ケア児支援事業について

*まん延防止措置のため、2月13日(日)以降の行事としています。

☆内多アナウンサーのこと

堀 侃子

今から数十年前になりますが、NHK 高松放送局に内多勝康さんというアナウンサーが配属されていました。その頃はラジオ担当だったのかラジオ愛好家の方からのお便りを読み、リクエスト曲をかけるという番組を担当していたようです。

私も子育ての合間に好きな曲を聞きたくなって思いつきで投稿してみました。私の文章がよまれた時は感動し本当に嬉しくなり元気をもらったひとときでしたが、リクエスト曲「素敵あなた」が全然ちがった曲であったことにがっかりし、二度と投稿することはありませんでした。

その時のアナウンサーが内多さんでまだ新人だったと思いますが、その後、東京の NHK のテレビ番組で時々みかけ、りっぱに活躍していらっしゃるんだなあと嬉しく思っていました。

さて私は昨年、医療的ケア児コーディネーターの研修を受け看護師、保育士、幼稚園教諭の資格を生かし医療的ケアを必要とする子どもたちのために役立ちたいと思いました。そんな時ある新聞で偶然に内多アナウンサーが今は医療的ケア児にかかわっていることを知り、びっくりするやらなつかしいやら。

今月は、その内多さんの NHK アナウンサーから医療的ケア児にかかわるようになったその記事をご紹介します。

☆医療的ケア児

—地域の学校で受け入れる「覚悟」を—

内多 勝康 「もみじの家」ハウスマネージャー

NHK アナウンサーとして担当した「クローズアップ現代」で、たんの吸引や人工呼吸器による呼吸管理などの「医療的ケア」が必要な子どもと、その家族を取り上げたのが平成 25 年のことです。

医療技術の進歩により助かる命が増えた一方で、手厚い医療処置が必要な状態のまま自宅に戻らざるを得ない子どもが増え続ける中、家族の暮らしをどのように支えていけばよいのか。この社会的な課題を伝えたいと思い、自ら番組の企画を提案しました。



インタビューに応じてくれたある母親は、「1日1回は、死にたいと思います」と口にしました。医療的ケア児の家族が置かれている状況を凝縮した言葉として、今でも忘れられません。

僕が直接ロケをした現場の1つが国立成育医療研究センターでした。後日、取材を通じて知り合った関係者から、近々「もみじの家」が創設されること、そしてハウスマネージャーの人材を探しているという情報が届きました。

福祉をキーワードに放送の仕事をしてながら、取得していた社会福祉士の資格が追い風となり、50歳を過ぎて転職という一大決心をしました。福祉や医療に関わっている人々を恰好良いと思える感性があったからこそ、NHKを飛び出せたのだと思っています。

もみじの家は、0～18歳も医療的ケア児とその家族が最長で9泊10日利用できる医療型の短期入所施設です。全てのケアはスタッフが担い、子どもたちは同世代の友達と遊んだり学んだりできます。

毎月、約60家族が訪れ、特に学校の夏休みには利用希望が増えます。家族が子どもと一緒に泊まりたい、子どもを預けて休憩したい、子どもの自立のために宿泊体験をさせたいなど、どのような理由でも受け入れています。

2021年9月に施行された医療的ケア児支援法では、医療的ケア児とその家族の意思を最大限に尊重し、住む地域にかかわらず適切な支援を受けられるよう、国や地方自治体の責務が明記されました。

医療的ケア児の中には、地域の小・中学校への通学を希望しても、受け入れ状態が整っていないことなどを理由に認められない場合があります。自宅や病院だけではなく地域とのつながりがあれば、その子どもの将来や可能性が広がります。

教委や学校が法律の重みを受け止め、どのように向き合うか、「決意」や「覚悟」を見たいです。支援法がこれまでの慣習を変える推進力になればと願っています。

内多勝康（うちだ・かつやす）

昭和38年生まれ。東京大学教育学部卒業後、NHKに入局。アナウンサーとして「NHKスペシャル」「クローズアップ現代」などに出演。平成28年、30年間勤めたNHKを退職し、国立成育医療研究センターが新設した、医療的ケア児とその家族のための短期入所施設「もみじの家」のハウスマネージャーに就任。

「教育新聞」2021年12月6日



1. 高松市医療的ケア児保育支援事業

保育所等の利用を希望する集団保育が可能な医療的ケアを必要とする児童（以下「医療的ケア児」）に対して、高松市が委託した訪問看護ステーションの訪問看護師を保育所等に派遣し、必要な医療的ケアを行い、児童福祉の向上を図ることを目的としています。

委託先の医療的ケア児支援者が中心となり、保育所等の教育・保育内容に考慮しながら、主治医の指示書に基づいた「医療的ケア実施計画書」を作成し、訪問看護師が、計画書に基づいた医療的ケアを行います。

2. 実施する医療的ケアについて

(1) 医療的ケアの種類

- ・経管栄養（鼻腔に留置されている管からの栄養、胃ろう、腸ろう）
- ・たん吸引（口腔・鼻腔内吸引、気管切開部からの吸引・衛生管理）
- ・酸素療法（酸素カヌラ、酸素マスク）
- ・導尿（看護師による導尿）
- ・インスリン注射

*巡回訪問で対応できるものに限りです。

(2) 対象施設

- ・高松市内の公私立保育園（所）
- ・高松市内の公私立こども園
- ・高松市内の小規模保育事業所及び事業所内保育事業所

(3) 対象児童

- ・集団保育が可能である3歳児クラス以上の児童（2号認定）を基本とします。
- ・受入れ時期は、4月1日入園（所）を基本とします。

(4) 訪問看護師が訪問可能な時間帯

- ・原則 9：00～16：00（宿泊を伴う活動については、実施対象外をします。）



高松市問い合わせ先

〒760-8571

高松市番町1丁目8-15

こども保育教育課運営支援室

三宅・石尾

TEL 087-839-2368

Fax 087-811-2360

香川県相談窓口

〒760-0068

高松市松島町2丁目12-8

香川県医療的ケア児等支援センター

「ソダテル」

TEL&Fax 087-813-0782

月～金 9：00～17：00